

拡張ステーション

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

△警告 本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へのお願い
本機の取り付け後、この「取り付けと接続」は、
必ずお客様へご返却ください。



NVA-TS2

© 2004 Sony Corporation Printed in Japan

目次

安全のために	2
箱の中身を確かめる	4
こんなことができます	4
取り付ける	6
システムの構成	6
拡張ステーションを設置する	6
「かんたん取り付け」と「標準取り付け」について	7
■ かんたん取り付け（シガー電源アダプターを使う）	8
■ 標準取り付け	9
各コードの接続について	10
周辺機器を接続する	11
電源を入れる	12
主な仕様	13
故障かな？と思ったら	14
保証書とアフターサービス	15

⚠️ 警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書では、次のような表示をしています。

表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

正しく取り付ける

本機をご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止

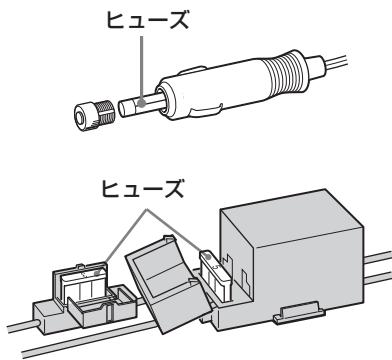


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示



運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けない

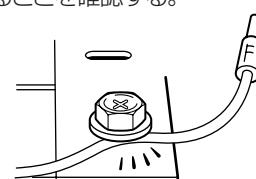
事故や感電、火災の原因となります。

次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない



禁止

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

警告



火災



下記の注意を守らないと火災・感電により死亡
や大けがの原因となります。

車の性能を維持するための部品を使わない



禁止

車体のボルトやナットを利用すると
き、次の部品を使うと、制御不能によ
る事故や火災の原因となります。

- ステアリング系統
- ブレーキ系統
- タンク類など

取り付け、接続作業をするときには、イグニッ ションスイッチを OFF にするか、キーを抜 いておく

イグニッションスイッチを ON にしたまま作業
をすると、バッテリーあがりや、ショートによ
りヒューズ飛びや発煙などの原因となります。



指示

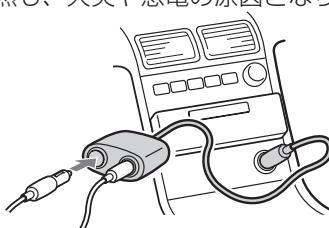


タコ足配線はしない

二又ソケットなどを利用したタコ足配線から電源
を取ると配線が加熱し、火災や感電の原因とな
ります。



禁止

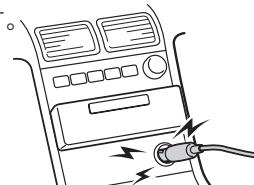


シガーライターソケットを点検・清掃する

シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が
入っていると、接触不良を起こし、シガープラグ
部分が熱くなります。シガープラグが発熱すると、
火災などの原因となります。



指示

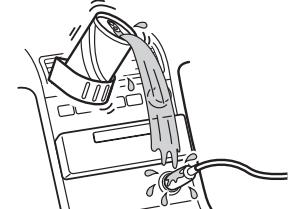


シガープラグに水などをかけない

水などがかかると火災や感電の原因となります。
万一、水などがかかったときは、すぐにプラグを
抜き、水分をきれいに取り除いてください。



禁止



シガープラグは確実に挿入する



指示

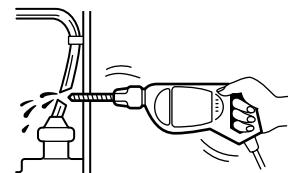
奥まで確実に接続してください。挿入が
不完全だと異常発熱して火災などの原因
となります。また、シガープラグを差し
込むときや抜くときは、イグニッション
スイッチを OFF にしてください。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付
けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの
位置を確認してください。



禁止



分解や改造をしない



分解禁止

火災や感電、事故の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店ま
たはソニーサービス窓口にご依頼く
ださい。

付属の部品で正しく取り付ける



指示

他の部品を使うと、機器の内部を傷つ
ける、しっかり固定できないなどで、
火災やけがの原因となります。

注意

下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与
えたりすることがあります。

不安定な場所に取り付けない



禁止

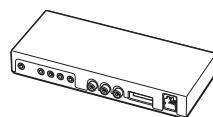
振動の多いところや、天井などに取り
付けると、製品が動く、落ちるなどに
より、事故やけがの原因となることが
あります。

本機は HDD AV ナビシステム NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33 用の拡張ステーションです。

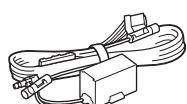
箱の中身を確かめる

拡張ステーション NVA-TS2

- ① 壓着式コネクター×3 ② コードクランパー×6 ③ 拡張ステーション ④ 面ファスナー×2



- ⑤ 電源コード



- ⑥ シガー電源アダプター



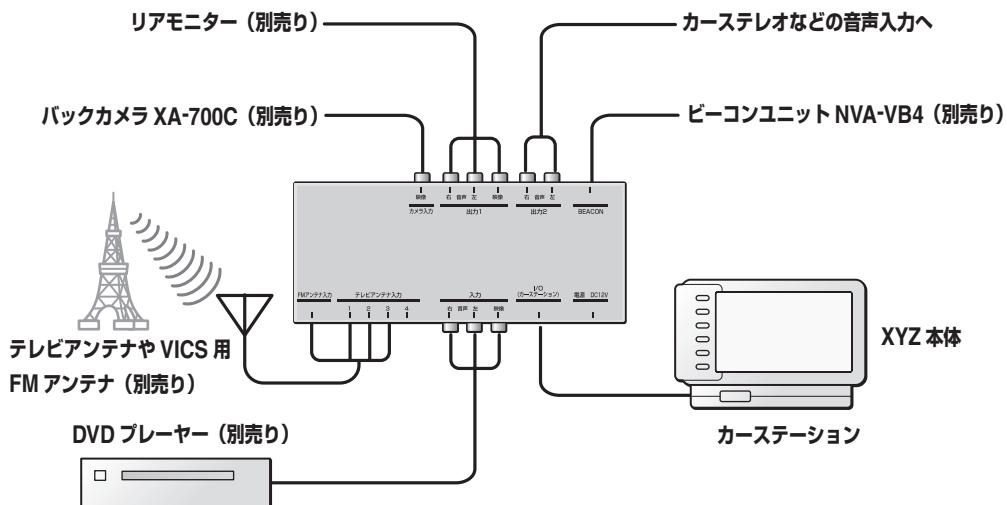
- ⑦ 接続コード



- 保証書
- ご相談窓口のご案内

こんなことができます

本機を XYZ 本体に接続すると、こんなことができるようになります。





テレビを見る

テレビを見る

テレビアンテナ（別売り）が必要です。



AUX入力

DVDなどを見る

DVD プレーヤー（別売り）などの外部機器が接続できます。



VICS FM 情報を見る

FM アンテナ（別売り）（テレビアンテナでも兼用可能）を接続すると、文字表示型と簡易図形表示型の渋滞情報などが表示できます。



VICS 情報（地図表示型）を見る

ビーコンユニット（別売り）を接続すると、渋滞などがリアルタイムでわかり、渋滞回避オートリルート機能も使えるようになります。

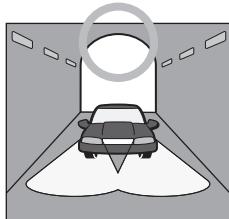


バックカメラ

バックカメラ（別売り）の映像を見る

バックカメラの画面自動切換機能をお使いになるには、バックランプの電源コードへの接続（9、10ページ）と、事前のXYZ本体でのメニュー設定（本体取扱説明書参照）が必要です。

自律航法機能



高速道路の下やビルの谷間、トンネルなどでGPSを受信できない場合も自車位置を表示する

自律航法機能をお使いになるには、車速センサーコードの接続（9、10ページ）が必要です。

カーステレオ音声入力への接続

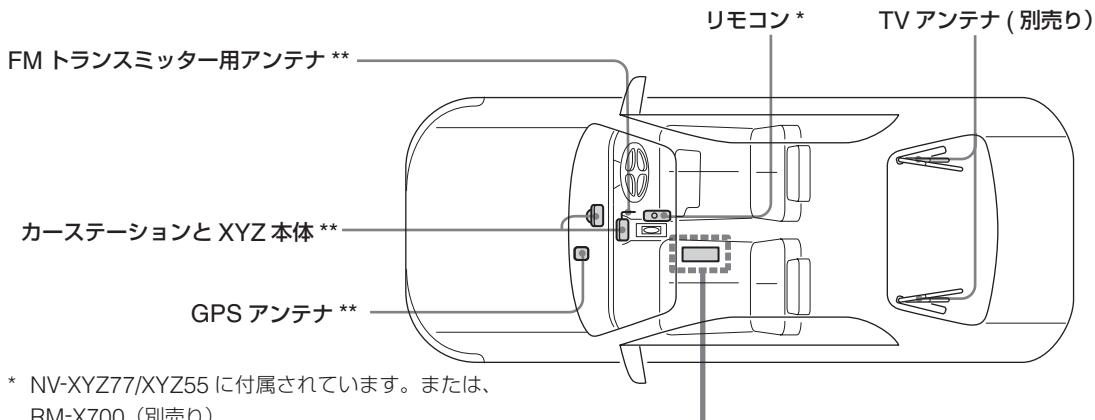
お手持ちのカーステレオの音声入力と接続すると、FM トランスミッターを使うよりクリアな音をカーステレオから聞くことができます。オーディオ接続コード（別売り）が必要です。

ちょっと一言

テレビや VICS などの操作については、XYZ 本体の取扱説明書をご覧ください。

取り付ける

システムの構成



* NV-XYZ77/XYZ55 に付属されています。または、
RM-X700 (別売り)

** NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33 に付属されています。

** ちょっと一言

XYZ 本体のスピーカーから出力されるのは、ナビゲーションのガイドや操作音のみです。テレビや音楽、DVD、ビデオなど、ナビゲーション以外の音声は、カーステレオの FM を利用して車のスピーカーで聞きます(FM トランスマッター機能)。このアンテナは、FM トランスマッター機能でナビゲーション以外の音声を FM 電波で飛ばし、カーステレオで受信するための出力アンテナです。

FM トランスマッター機能の設定方法や使用方法については、本体取扱説明書をご覧ください。

なお、オーディオ接続コード(別売り)を使用して、カーステーションまたは拡張ステーションとカーステレオの AUX-IN を接続する際には、FM トランスマッター用アンテナは使用しません。

拡張ステーション NVA-TS2 (本機)

- シガーライターソケットから電源を接続できます。標準の電源接続もできます。
- 付属の接続コードで XYZ 本体と接続します。
- 拡張ステーションを接続する場合には、付属の接続コードを介して拡張ステーションから XYZ 本体へ電源供給を行うため、カーステーション用の電源コードは不要になります。

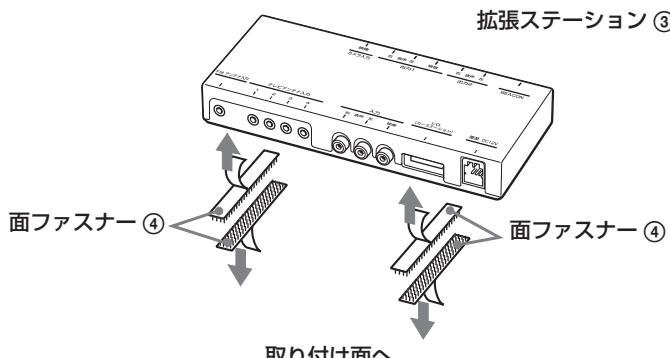
拡張ステーションを設置する

精度よく自車位置を読み取るために、必ず水平 5 度以内に、しっかりと取り付けてください。

ご注意

- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - 高温になる所
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高い所
- 面ファスナーは、底面の銘板を避けて貼ってください。

面ファスナー④を必要な分だけ切り、カーペットなどに取り付ける



「かんたん取り付け」と「標準取り付け」について

本書では代表的な取り付け方の例として、以下の2つの方法を詳しく説明しています。
内容をご確認の上、取り付け方法をお決めください。

かんたん取り付け

- 車のシガーライターから電源をとります。
- 車の車速センサーコードやバックランプの電源コードとの接続は省略しています。(自律航法機能*、別売りのバックカメラ接続時の画面自動切換機能**は使えません。)

標準取り付け

- 車のバッテリー(常時)電源、ACC(アクセサリー)電源から電源をとります。
- 車の車速センサーコードやバックランプの電源コードと接続します。自律航法機能*や、バックカメラ(別売り)接続時のバックカメラの自動切換機能**をお使いいただけます。

ちょっと一言

上記は代表的な取り付けの例です。車の車速センサーコード、バックランプの電源コードとの接続には、次の役割がありますので、内容をご確認の上、必要とお好みに応じて接続するかどうかを決めてください。

- 車速センサーコードと接続すると、自律航法機能*が使用できます。
車速センサーコードを接続した場合は、必ずバックランプの電源コードとの接続も行ってください。接続しないと、バック時に自車位置表示がずれてしまいます。
- バックランプの電源コードと接続すると、バックカメラ(別売り)接続時に、バックカメラの自動切換機能**を使用できます。
また、車速センサーコードとの接続をした際には、車が後方向に進んでいることを検知します。

* **自律航法機能**：トンネル内やビルの谷間などでGPSが受信できない時にも、自車位置を表示します。

** **バックカメラの自動切換機能**：シフトレバーをバックに入れると、バックカメラの画面に自動切換します。この機能を使うには、事前にメニュー設定が必要です。詳しくは本体取扱説明書をご覧ください。

ご注意

パーキングブレーキスイッチコードへの接続は安全のために必ず行ってください。パーキングブレーキスイッチコードは、車が走行中か停車中かを検知するために接続します。本機は安全のため、走行中にはテレビやDVD、ビデオなどの動画表示は行わず、簡単な操作のみが行えるようになっています。パーキングブレーキスイッチコードを接続しないと、本機は常時走行中と認識し、動画表示時には音声のみとなり、安全のためのメッセージを表示します。また、各種設定、登録など詳細な操作ができなくなります。

本機の接続コードの色は、JEITA*コードカラーに準拠しています。

* JEITAは、(社)電子情報技術産業協会の略称です。

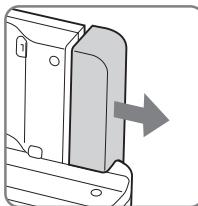
ご注意

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

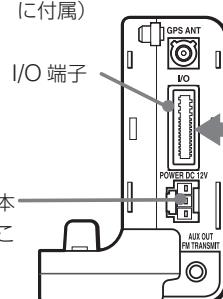
■ かんたん取り付け（シガー電源アダプターを使う）

- 「拡張ステーションを設置する」（6ページ）を済ませてから接続してください。
- 本機（拡張ステーション）を接続する場合には、付属の接続コードを介して拡張ステーションからXYZ本体へ電源供給を行うため、カーステーション用の電源コードは不要になります。

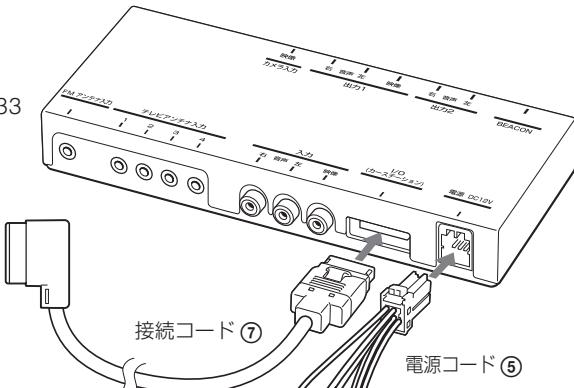
△印部分を押して、カバーをはずす



カーステーション
(NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33
に付属)



電源は接続コード⑦で本体に供給されるため、ここには何も接続しません。

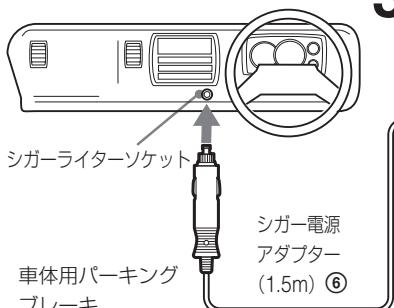


電源コード⑤

標準取り付け（次ページ）と同じコードです。

1 カーステーションとつなぐ

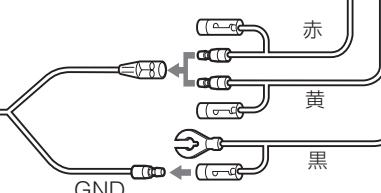
3 電源をつなぐ



車体用パーキング
ブレーキ
スイッチコード*

2 パーキングブレーキとつなぐ

若草色 (2.5m)

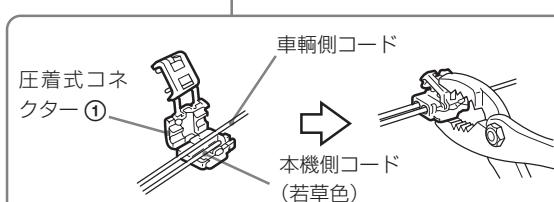
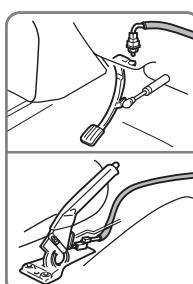


アクセサリーポジション
のない車に本機を取り付ける場合のご注意

アクセサリーポジションのない車に本機を取り付けた場合、エンジンを切った際には必ず電源コードをシガーソケットから抜いてください。電源コードを抜かないで、シガーソケットのランプが点灯したままになり、バッテリー上がりの原因となります。

ちょっと一言

かんたん取り付けでは、電源コード（紫/白）、車速センサーコード（桃色）の接続は省略しています。（ただし、バックカメラや自律航法機能を利用できません。）



紫/白 (5.5m)

桃色 (2.5m)

* パーキングブレーキスイッチコード、バックランプの電源コード、車速センサーコードの位置は車種により異なります。接続の位置や接続方法について、詳しくは10ページと「ソニーFAXインフォメーションサービス」またはSonyDrive（裏表紙に記載）をご覧ください。

ご注意

- パーキングブレーキスイッチコードへの接続は安全のために必ず行ってください。パーキングブレーキスイッチコードは、車が走行中か停車中かを検知するために接続します。本機は安全のため、走行中にはテレビやDVD、ビデオなどの動画表示は行わず、簡単な操作のみが行えるようになっています。パーキングブレーキスイッチコードを接続しないと、本機は常時走行中と認識し、動画表示時には音声のみとなり、安全のためのメッセージを表示します。また、各種設定、登録など詳細な操作ができなくなります。
- 接続コード⑦、電源コード⑤、シガーエンタープライズアダプター⑥などの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。テレビ画面が乱れことがあります。

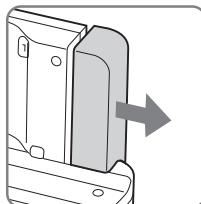
ちょっと一言

テレビアンテナやビーコンユニットなど周辺機器との接続については、11ページをご覧ください。

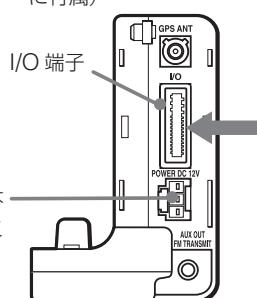
■ 標準取り付け

- 「拡張ステーションを設置する」(6 ページ) を済ませてから接続してください。
- 本機（拡張ステーション）を接続する場合には、付属の接続コードを介して拡張ステーションから XYZ 本体へ電源供給を行うため、カーステーション用の電源コードは不要になります。

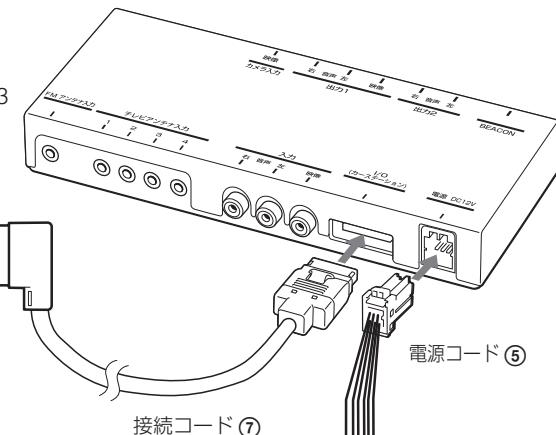
△印部分を押して、カバーをはずす



カーステーション
(NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33
に付属)



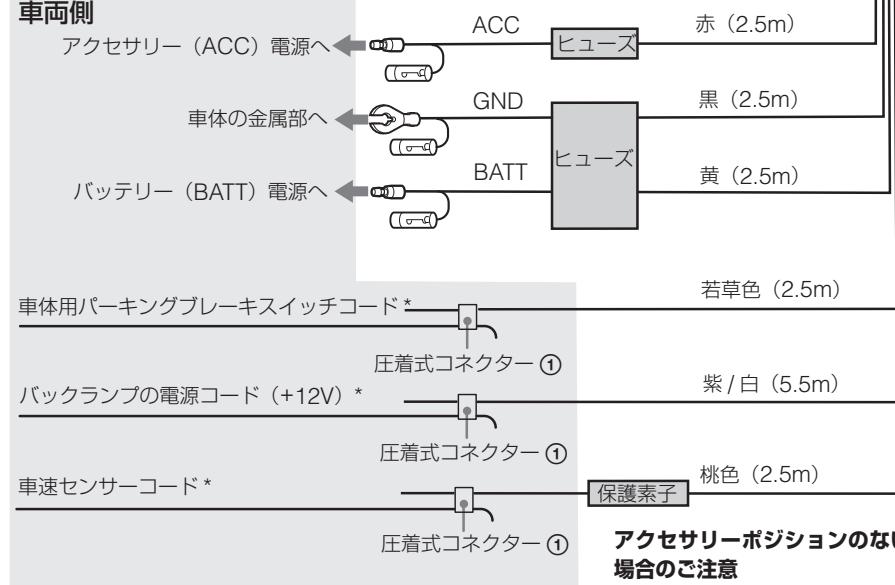
電源は接続コード⑦で本体に供給されるため、ここには何も接続しません。



1 カーステーションとつなぐ

2 電源コードからシガーソケットアダプターをはずし、電源コードをすべて配線する

車両側



ちょっと一言

テレビアンテナやビーコンユニットなど周辺機器との接続については、11ページをご覧ください。

* パーキングブレーキスイッチコード、バックランプの電源コード、車速センサーコードの位置は車種により異なります。接続の位置や接続方法について、詳しくは 10 ページと「ソニー FAX インフォメーションサービス」または SonyDrive（裏表紙に記載）をご覧ください。

アクセサリーポジションのない車に本機を取り付ける場合のご注意

赤色コードを黄色コードと同じ車両側のバッテリー電源へ接続してください。アクセサリーポジションのない車に本機を取り付けた場合、エンジンを切った際には必ず XYZ 本体の POWER ボタンを長押しして電源を切ってください。(POWER ボタンを短く押しただけでは電源が切れないので、バッテリー上がりの原因となります。)

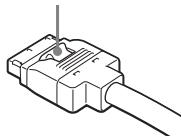
ご注意

- パーキングブレーキスイッチコードへの接続は安全のために必ず行ってください。パーキングブレーキスイッチコードは、車が走行中か停車中かを検知するために接続します。本機は安全のため、走行中にはテレビや DVD、ビデオなどの動画表示は行わず、簡単な操作のみが行えるようになっています。パーキングブレーキスイッチコードを接続しないと、本機は常時走行中と認識し、動画表示時には音声のみとなり、安全のためのメッセージを表示します。また、各種設定、登録など詳細な操作ができなくなります。
- 接続コード⑦、電源コード⑤などの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。テレビ画面が乱れることがあります。

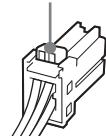
各コードの接続について

コネクターの着脱のしかた

カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながら引っ張る。



カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながら引っ張る。



圧着式コネクター①を使用して各コードを接続します。各コードの組み合わせについては、以下の表を参照してください。

拡張ステーション側	車両側
桃色（車速信号入力）コード	車速センサーコード
紫／白色（バック信号入力）コード	バックランプの電源コード
若草色（パーキングブレーキ）コード	パーキングブレーキスイッチコード

- 車両側の各コードの位置は、取り付ける車両によって異なりますので、「ソニー FAX インフォメーションサービス」または SonyDrive（裏表紙に記載）をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。
- バックランプ電源コードに接続すると、別売りのバックカメラを接続して車両がバックしたとき、自動的にカメラ画面に切り換ります。また、バック時に生じる自車位置の誤差をなくすことができます。
- 車両側のバックランプ電源コードと車速センサーコードの接続について、詳しくは「ソニー FAX インフォメーションサービス」または SonyDrive（裏表紙に記載）をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

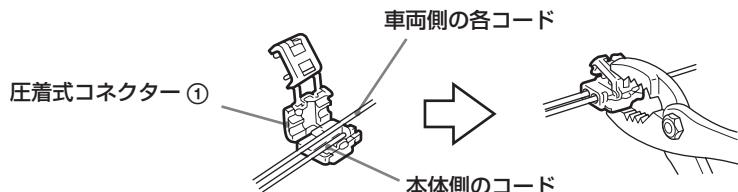
車速センサーコードの取り付けについて

本機はデジタルパルス入力を想定しています。アナログパルスを発生する車に接続するには、別売りの車速パルス発生器 XA-200S を取り付けてください。（車種やタイヤによっては取り付けられない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。）

圧着式コネクターの使いかた

ご注意

圧着式コネクターは保護素子よりコード先端側で使用してください。本体側に接続すると故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

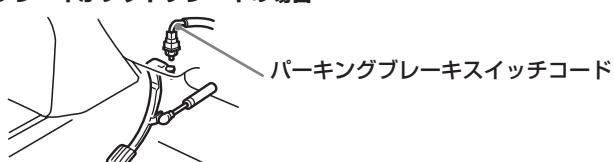


パーキングブレーキスイッチコードの位置について

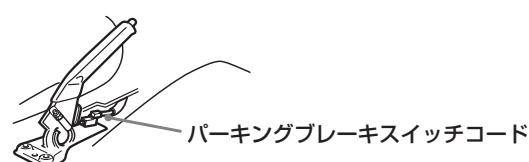
パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。

下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフットブレーキの場合

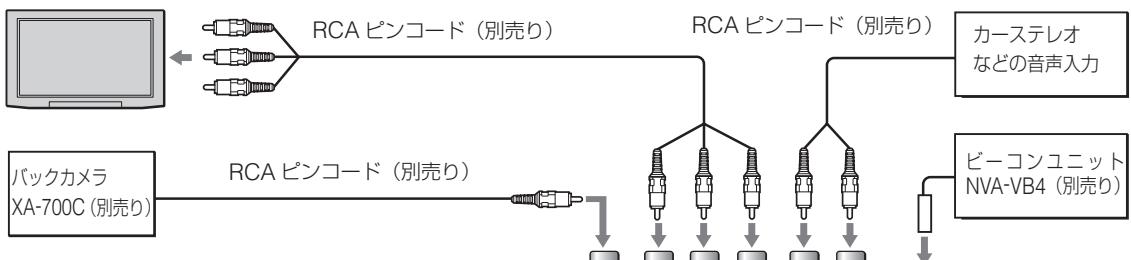


パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



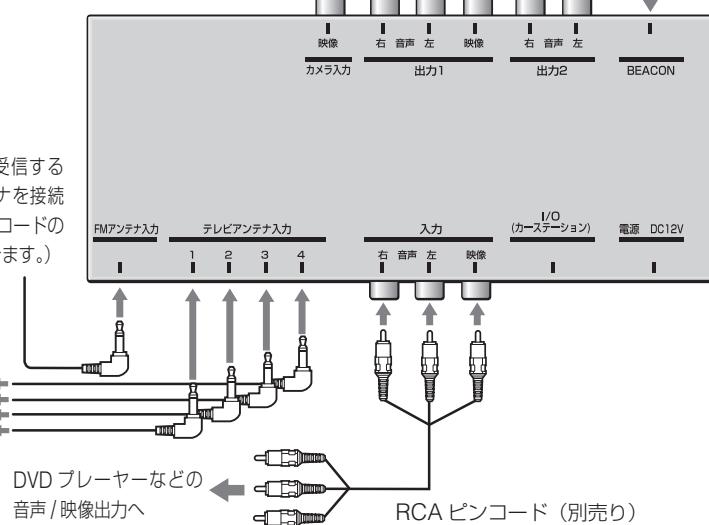
周辺機器を接続する

リアモニター（別売り）



FM VICS の交通情報を受信する
ために市販の FM アンテナを接続
します。（テレビアンテナコードの
1本を使用することもできます。）

市販のテレビアンテナを接続し
ます。（テレビアンテナ入力の 1
～4はどこを使用しても効果は
同じです。）



DVD プレーヤーなどの
音声 / 映像出力へ

RCA ピンコード（別売り）

電源を入れる

ちょっと一言

XYZ 本体は、拡張ステーションが接続された 5 台までの車の車種と、その自律航法の学習値を XYZ 本体に記憶し、XYZ 本体を車から車へ乗せ替えた際には自動的にそれらを切り替えます。なお、車種については事前に設定が必要です。設定方法について詳しくは、本体取扱説明書の「ナビの設定を変える」をご覧ください。

ご注意

拡張ステーションが接続された 6 台目以降の車に XYZ 本体を接続すると、接続した時期の古い車の情報から順に上書きされていきます。

車のエンジンをかけて起動させる

- 1 エンジンをかける。
- 2 ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する。
- 3 本体をカーステーションに取り付け、POWER ボタンを押して電源を入れる。

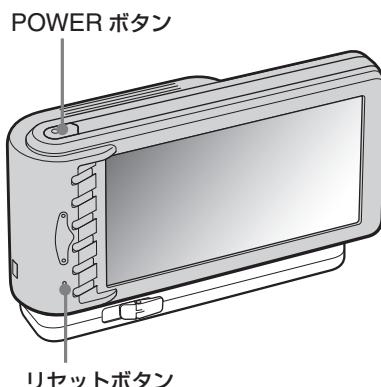
なお、本機を初めて接続したときには、XYZ 本体のリセットボタンをつまようじの先などで押して、リセットしてください。

また、本機接続時には、以下の場合リセットは不要ですが、下記の手順で自律航法の学習値を初期化してください。

- XYZ 本体を拡張ステーションごと別の車に載せ替えたとき
- タイヤ交換をしたとき

<自律航法の学習値初期化の手順>

APPLI ボタン → 「ナビゲーション」 → MENU ボタン → 「ナビの設定をする」 → 「車種を設定する」 → 「自律航法の学習値を初期化」



主な仕様

使用温度範囲	– 10°C ~ + 55°C
電源	DC12V カーバッテリー (マイナスアース)
消費電流	約 1 A
受信方式	NTSC 方式
受信チャンネル	1CH ~ 12CH (VHF) 13CH ~ 62CH (UHF)
接続端子	カーステーション接続端子 TV アンテナ接続端子 FM アンテナ接続端子 ビーコンユニット端子
入力端子	映像入力 (1 系統) : RCA ピンジャック 音声入力 (1 系統) : RCA ピンジャック カメラ入力 (1 系統) : RCA ピンジャック
出力端子	映像出力 (1 系統) : RCA ピンジャック 音声出力 (2 系統) : RCA ピンジャック
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	190.6 × 27.8 × 80.8mm (突起部含まず)
質量	約 424g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

故障かな?と思ったら

症状	原因および処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しく接続されていない。→「かんたん取り付け」(8ページ) または「標準取り付け」(9ページ) を参照し、接続を確認してください。各コネクターが確実に差し込まれていない。→接続ポイントをすべて確認してください。ヒューズが切れている。→新しいヒューズと交換してください。ヒューズが切れた原因が不明な場合は、お買い上げ店にご相談ください。
テレビが映らない	<ul style="list-style-type: none">テレビアンテナが本機に正しく接続されていない。→テレビアンテナの取り付けについて、詳しくはテレビアンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。本機とカーステーションのコードが接続されていない。→「かんたん取り付け」(8ページ) または「標準取り付け」(9ページ) を参照し、接続コードを接続してください。若草色コードと車両側のパーキングブレーキスイッチコードが接続されていない。→接続してください。
画面がつぶれる、流れる、色がつかない	<ul style="list-style-type: none">各コネクターが確実に差し込まれていない。→接続ポイントをすべて確認してください。
画面に線、斑点状のノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none">接続コード、電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
FM トランスミッターが正常に働かない	<ul style="list-style-type: none">FM トランスミッター用アンテナコードやシガー電源アダプターなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。FM トランスミッター用アンテナには指向性があります。配線を変更して確認してください。周辺地域のラジオ放送の周波数と重なって、その影響を受けていることがあります。違う周波数に再設定して確認してください。
自車位置がずれる	<ul style="list-style-type: none">本体のリセットボタンを押していない。→本体をカーステーションに取り付け、POWER ボタンを押して電源を入れ、本体のリセットボタンをつまようじの先などで押してください。(12ページ参照)拡張ステーションごと別の車に載せ替えた、または、タイヤを交換したが、自律航法の学習値を初期化していない。→自律航法の学習値を初期化してください。(12ページ参照)本機が水平5度以内に取り付けられていない。→「拡張ステーションを設置する」(6ページ) を参照し、正しく取り付けてください。かんたん取り付けでは自律航法機能を使用しないため、トンネル内やビルの谷間、山や林の中などのGPSを受信しにくい所では、自車位置を測定できない場合があります。かんたん取り付けではバックランプの電源コードを接続しないため、バックの際に自車位置がずれますが、GPSの受信状態のよい所をしばらく走行するとマップマッチング機能が働き、正しい表示に戻ります。戻らない場合は、メニュー操作で自車位置を補正してください(XYZ本体取扱説明書参照)。
FM VICS やテレビが受信しない	→ TV/FM VICS 端子に TV/FM アンテナが接続されているか確認してください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この「取扱説明書」をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ソニー FAX インフォメーションサービスのご案内（FAX 付電話をご利用になれます）

カーフィッティング FAX サービス

車輛メーカー、車種・車輛形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

- インデックスの入手／03-3552-7209 → 車輛メーカー別の BOX 番号を受信
 - 資料請求／03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当 BOX 番号を入力してください。
- ソニー FAX インフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。また FAX の機能によっては受信できない場合があります。
- FAX サービスのメンテナンス日は 每月第 2 木曜日 午前 8:00～午後 11:00 となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。（第 2 木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。）

24 時間
お手元の FAX で
資料が取り出せます

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様ご相談センター

- ナビダイヤル 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料をご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
- FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。



CarAV

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 包装用緩衝材から発泡スチロールを全廃しています。
- この説明書は 100% 古紙再生紙と VOC (揮発性有機化合物) ゼロ植物油型インキを使用しています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35